

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																													
愛犬美容看護専門学校		平成22年7月2日		工藤公康		〒064-0809 札幌市中央区南9条西7丁目1番31号 (電話) 011-512-7744																													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																													
学校法人工藤学園		平成22年7月2日		理事長 工藤典子		〒064-0809 札幌市中央区南9条西7丁目1番31号 (電話) 011-512-7744																													
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																											
文化・教養		文化・教養専門課程		トリマー科		平成23年文部科学省 告示第166号		—																											
学科の目的		動物愛護の精神にあふれ、高度な技術と幅広い知識を身につけた質の高い人材を育成する。また、ペットショップの業務にそった学習を行い、トリミング実習に重点をおき、JKCトリマーB級取得を目指す。																																	
認定年月日		平成 26年 3月 31日																																	
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技																							
2年		昼間		1700時間		454時間		126時間		0時間		0時間		1328時間																					
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		単位時間																							
80人		50人		2人		4人		3人		7人																									
学期制度		■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価と総合評価																											
長期休み		■学年始:4月1日～4月7日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月20日～3月31日				卒業・進級条件		学科試験・実習の成績によって、卒業・進級を決定する。																											
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が常に生徒の状況を把握し、個別に指導・助言を行う。				課外活動		■課外活動の種類 なし ■サークル活動: 無																											
就職等の状況※2		■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 動物業界(ペットショップ・動物病院) ■就職指導内容 担任・就職担当と個別に相談し指導する ■卒業生数 : 20 人 ■就職希望者数 : 7 人 ■就職者数 : 7 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 35 % ■その他 ・上級学科トリマー高等専攻科への進学者数:7人 ・上級学科トリマー専攻科への進学者数:4名 (平成 30年度卒業者に関する 令和1年5月1日 時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和1年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JKC公認トリマーライセンス</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>JKC公認ハンドラーライセンス</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>ICCキャットグルーマーライセンス</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>損害保険募集人一般試験</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 JKCトリミング競技会最優秀賞受賞・優秀養成機関賞受賞				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JKC公認トリマーライセンス	③	20人	20人	JKC公認ハンドラーライセンス	③	20人	20人	愛玩動物飼養管理士	③	19人	17人	ICCキャットグルーマーライセンス	③	20人	20人	損害保険募集人一般試験	③	20人	18人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																
JKC公認トリマーライセンス	③	20人	20人																																
JKC公認ハンドラーライセンス	③	20人	20人																																
愛玩動物飼養管理士	③	19人	17人																																
ICCキャットグルーマーライセンス	③	20人	20人																																
損害保険募集人一般試験	③	20人	18人																																
中途退学の現状		■中途退学者 5 名 平成30年4月1日時点において、在学者50名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者45名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、体調不良 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任とのコミュニケーションを大事にし、問題を解決する。				■中退率 10.0 %																													
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有(無) ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																	
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																	
当該学科のホームページURL		URL: http://www.h-aiken.com/																																	

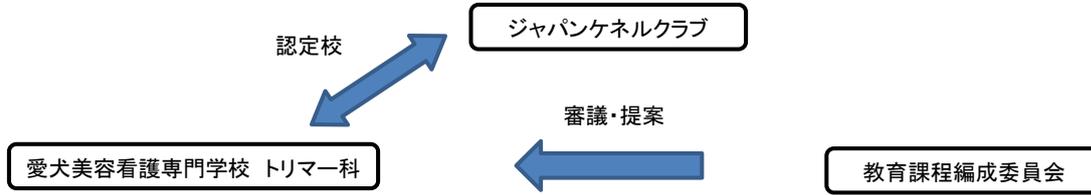
1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

動物に関わる職業を意識して、創造力を養う教育プログラムを実施し、生徒一人ひとりの能力を生かした教育編成をする。また、地元ペットショップ等と連携し、業界関係者の意見を反映しながら、カリキュラム・シラバス・授業内容の改善・実習のブラッシュアップに努める。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校長は、教育課程の編成にあたり、第三者の意見を求める教育課程編成委員会を設置し、規則の通り、カリキュラムの企画・運営・評価、また授業科目の内容・方法を審議し、充実・改善を図る。また、(一社)ジャパンケネルクラブ指定のカリキュラムに基づき編成を行い、実際のカリキュラムの改善は、担当教員が行う。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年10月31日現在

名前	所属	任期	種別
工藤典子	愛犬美容看護専門学校	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	
杉山隆俊	北海道ペット事業協同組合	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	①
樋原均	(株)ペットハウス テン・テン	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	③
立花徹	北光犬猫病院	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	③
原田圭	北海道小動物獣医師会	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	②
工藤公康	愛犬美容看護専門学校	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	
中川佳代子	愛犬美容看護専門学校	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 令和1年10月21日 13:00～15:00

第2回 令和2年2月(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

研修を依頼した企業からの評価報告が行われた。委員からはトリマーとして、昨年同様、学校は技術だけではなく「人」を育ててほしいとの意見があった。また、資格取得に関する授業について内容の精査を行い協議を行った。コミュニケーション力や応用力もまだまだ不足な点が多いので、力を入れてほしいとの提案があった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

郊外実習において職場体験・実習教育を行う。実習内容としてペットショップ等において1年次後期・インターンシップ実習、2年次前期・インターンシップ実習を実施する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

1年次後期・2年次前期に、提携しているペットショップ等に一定期間の現場研修を依頼し、実習終了後、トリミング実習授業ではトリミングのスキルを、社会学ではお客様対応などさらに実践的な授業に結び付ける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
社会学	実際のペットショップや動物病院での飼い主の対応や接客について実技をまじえて学ぶ。	(株)すぎたま 他 ペットショップ
トリミング実習	実際に犬を使いグルーミングの基本からカットまでの一連の作業をトリミング実習を通して身につける。	(株)すぎたま 他 ペットショップ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校では、専門知識・技術の維持向上のため、研修に関する規程に従い組織的に取り組んでいる。研修内容は校内・校外において授業に必要な専門知識や技術の修得、また自己啓発などの講習に参加など、指導力の向上に努めている。

- ・本校加盟の各種関連団体研修・委員会において、専門知識・技術の向上を図る。
- ・(一社)ジャパンケネルクラブ・北海道ブロックトリマー委員会・北海道ブロックハンドラー委員会・日本愛玩動物協会・インターナショナルキャットクラブ・全国専修学校各種学校連合会・北海道専修学校各種学校連合会、その他動物養成教育に必要と考えられる研修に参加し、情報収集、最新の専門知識・技術の習得に努める。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成30年7月21日	JKC北海道ブロック トリミング競技会(目的:技術向上)
平成30年7月26日	ジャペル スピードトリミングセミナー(目的:技術向上)
平成30年8月8日	FCI北海道インターナショナルドッグショー(目的:技術向上)
平成30年9月16日	JKC北海道ブロック トリマー義務研修会(目的:技術向上)
平成30年9月20日	JKC札幌アーサードッグクラブ研修会(目的:技術向上)
平成30年10月14日	JKC北海道ブロック ハンドラー義務研修会(目的:技術向上)
平成31年1月10日	北海道私立専修学校各種学校連合会 動物部会研修(目的:技術向上)
平成31年3月30日	JKC全国トリミング競技大会(目的:技術向上)

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成30年7月24日	北海道私立専修学校各種学校連合会学校教員能力認定委員会 職業実践専門課程研修会(目的:指導力向上)
平成30年12月21日	北海道私立専修学校各種学校連合会学校教員能力認定委員会 職業実践専門課程研修会(目的:指導力向上)
平成31年1月10日	北海道私立専修学校各種学校連合会 動物部会研修(目的:指導力向上)

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

令和1年6月19日	ハイアスピレーション シャンプーセミナー(目的:技術向上)
令和1年7月14日	FCI北海道インターナショナルドッグショー(目的:技術向上)
令和1年8月6日	すぎたま アーティストトリミングセミナー(目的:技術向上)
令和1年8月7日	ハイアスピレーション シャンプーセミナー(目的:技術向上)
令和1年9月8日	JKC北海道ブロック トリマー義務研修会(目的:技術向上)
令和1年10月19日	JKC北海道ブロック トリミング競技会(目的:技術向上)
令和1年10月6日	JKC北海道ブロック ハンドラー義務研修会(目的:技術向上)
令和2年3月16日	JKC全国トリミング競技大会(目的:技術向上)

② 指導力の修得・向上のための研修等

令和1年7月23日	北海道私立専修学校各種学校連合会学校教員能力認定委員会 職業実践専門課程研修会(目的:指導力向上)
令和2年1月8日	北海道私立専修学校各種学校連合会 動物部会研修(目的:指導力向上)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価をホームページで公開することによって学校の運営や教育内容の改善を図る。また、平成25年度より本校の卒業生・動物業界関係者等で構成される学校関係者評価委員会を設置し、評価の上、結果を公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか 他
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか 他
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか 他
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか 他
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか 他
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 他
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行われているか 他
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 他
(9) 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 他
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 他
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

令和1年10月23日17時より本校の学校関係者評価委員会を開催し、昨年度の評価との比較をふまえて意見を聴取した。授業評価に関してはまだ実施がされていないため、準備を早く進めることとする点、社会貢献に関しては慰問等が良い点と評価された。今後は更に学校運営や教育内容の向上を図るための意見を聞く予定である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年10月31日現在

名前	所属	任期	種別
上西陽介	トリミングサロン Doggy Life	平成29年11月1日～令和1年10月31日(2年)	企業代表
千葉直美	DOG SALON paw print	平成29年11月1日～令和1年10月31日(2年)	企業代表
佐藤蘭子	えとう動物病院	平成30年11月1日～令和2年10月31日(2年)	卒業生
佐々木可愛美	湯山動物病院	平成30年11月1日～令和2年10月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://www.h-aiken.com/> (10月31日公表)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

今後、ホームページなどで情報提供を積極的に行い、学校関係者の理解・評価を推進し、適切な職業教育選択をすとも、社会に対する説明責任、職業実践教育の質の更なる向上を図る予定である。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校名、学校の沿革・歴史、学校の特色 他
(2) 各学科等の教育	定員数・修業年限・在籍数、カリキュラム 他
(3) 教職員	教職員数、教職員(スタッフ)紹介、教職員の組織・活動
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況 他
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況・地域活動
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	生徒納付金の取り扱い、活用できる就学支援措置の内容等
(8) 学校の財務	資金収支計算書・貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

愛犬美容看護専門学校のホームページにて公開 URL: <http://www.h-aiken.com/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 トリマー科) 令和1年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○	○		美容基礎理論	グルーミングの本来の目的を理解し各犬種のスタンダードを認識しながらグルーミング、トリミングの基本を習得する。	1 2	80	3	○			○		○		
○	○		犬種別講習	各犬種の用途を理解しその個体の特徴を基本を基に最大限に引き出せるようにする。	1 2	80	3	○			○		○		
○			創造学	スケッチや造形でトリミングのバランスを養う。	1 2	48	1		○		○		○		
○			犬体学	犬の構成を理解しトリミングに必要な犬体名称、骨格などを知る。	1	32	1	○			○		○		
○	○		行動学	動物達の習性や用途を理解したうえで必要なしつけやおこりうる問題行動を把握する。	1 2	48	2	○			○		○		
○			構成・歩様学	犬種自体の持っている特徴を見極めハンドリングでの犬の歩様や立たせ方を習得する。	1	16	1	○			○		○		
○			繁殖学	遺伝や交配、飼育に関する知識を習得し健全な動物の繁殖・飼育を学ぶ。	2	16	1	○			○		○		
○			飼育・飼養学概論	習性、飼い方をよく理解し、その犬やネコにストレスの与えない飼養を学ぶ。	1 2	48	1	○			○		○		
○			獣医・看護学	日常の健康管理からワクチンの用途を知り、病気の予防までの基礎となる獣医学を中心に幅広く学ぶ。	1 2	16	1	○			○		○	○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
実技・学科の授業を行い、試験・実習の成績によって卒業を決定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 トリマー科) 令和1年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			健康管理学	日常の健康管理や食餌管理等を通して、犬の健康状態の把握や問題が生じた場合の応急処置の方法などを学ぶ。	1	32	2	○			○		○		
○			看護実践学	実際に動物病院で使われている機材、器具を使い、基礎知識をふまえて、看護の技術を習得する。	2	16	1		○		○			○	
○			社会学	実際のペットショップや動物病院での飼い主の対応や接客について実技をまじえて学ぶ。	1 2	56	2			○	○	○	○		○
○	○		ハンドリング学科	実際の犬を使ってハンドリングを行う前に、ハンドリングの基本や技術を学ぶ。	1	32	1	○			○			○	
○			ハンドリング実習	学科で習得した知識を基に実際に犬を使い具体的な動きでハンドリングの技術を習得する。	1 2	64	2		○		○			○	
○	○		トリミング実習	実際の犬を使いグルーミングの基本からカットまでの一連の作業をトリミング実習を通して身につける。	1 2	1324	40			○	○	○	○		○
合計						15	科目			1900	時間	(61	単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
実技・学科の授業を行い、試験・実習の成績によって卒業を決定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
愛犬美容看護専門学校		平成22年7月2日		工藤公康		〒064-0809 札幌市中央区南9条西7丁目1番31号 (電話) 011-512-7744																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人工藤学園		平成22年7月2日		理事長 工藤典子		〒064-0809 札幌市中央区南9条西7丁目1番31号 (電話) 011-512-7744																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																						
文化・教養	文化・教養専門課程	動物看護科				平成23年文部科学省 告示第166号	—																						
学科の目的	治療・検査・看護など実際の臨床現場で行われる作業の流れにそった学習を行い、現場で役立つプロフェッショナルを養成する。																												
認定年月日	平成 26年 3月 31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	1700時間	692時間	352時間	688時間	0時間	570時間																						
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
80人		34人	0人	4人	5人	9人																							
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価と総合評価																								
長期休み	■学年始:4月1日～4月7日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月20日～3月31日			卒業・進級 条件	学科試験・実習の成績によって、卒業・進級を決定する。																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が常に状況を把握し、個別に指導・助言を行う。			課外活動	■課外活動の種類 なし ■サークル活動: 無																								
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 動物業界(ペットショップ・動物病院) ■就職指導内容 担任・就職担当と個別に相談し指導する ■卒業生数 : 20 人 ■就職希望者数 : 8 人 ■就職者数 : 8 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 40 % ■その他 ・上級学科トリマー専攻科への進学者数:12人 (平成 30年度卒業生に関する 令和1年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和1年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定動物看護師資格</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>JKC公認 トリマーライセンス</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>ICCキャットグルーマー ライセンス</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	認定動物看護師資格	③	19人	19人	JKC公認 トリマーライセンス	③	20人	20人	愛玩動物飼養管理士	③	18人	18人	ICCキャットグルーマー ライセンス	③	20人	20人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
認定動物看護師資格	③	19人	19人																										
JKC公認 トリマーライセンス	③	20人	20人																										
愛玩動物飼養管理士	③	18人	18人																										
ICCキャットグルーマー ライセンス	③	20人	20人																										
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成30年4月1日時点において、在学者34名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者34名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任とのコミュニケーションを大事にし、問題を解決する。																												
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有(無) ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																												
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.h-aiken.com/																												

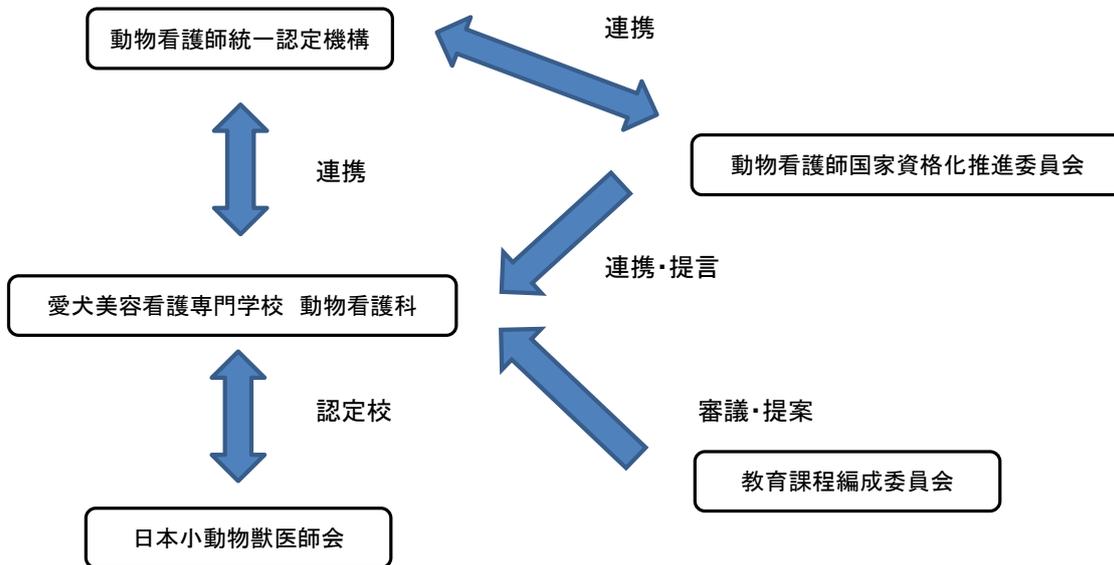
1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

動物に関わる職業を意識して、命の大切さを実感できる教育プログラムを実施し、生徒一人ひとりの能力を生かした教育編成をする。また、地元獣医師会と連携し、業界関係者の意見を反映しながら、カリキュラム・シラバス・授業内容の改善・実習のブラッシュアップに努める。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校長は教育課程の編成にあたり、第三者の意見を求める教育課程編成委員会を設置し、規則の通りカリキュラムの企画・運営・評価、また授業科目の内容・方法を審議し充実・改善を図る。また、動物看護師国家資格化推進委員会から教育課程で出された提言に基づき、実際のカリキュラムの改善は、担当教員が行う。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年10月31日現在

名前	所属	任期	種別
工藤典子	愛犬美容看護専門学校	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	
杉山隆俊	北海道ペット事業協同組合	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	①
樋原均	(株)ペットハウス テン・テン	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	③
立花徹	北光犬猫病院	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	③
原田圭	北海道小動物獣医師会	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	②
工藤公康	愛犬美容看護専門学校	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	
中川佳代子	愛犬美容看護専門学校	平成29年11月1日～ 令和1年10月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回
(開催日時)
第1回 令和1年10月21日 13:00～15:00
第2回 令和2年2月(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

文科省事業で参加している病院研修プログラムの現在の状況が報告された。また、トリマー科同様、資格取得のための授業内容の精査による意見を聴取した。社会学においては協調性・積極性を持ち、コミュニケーション力の強化をしてほしいとの提案があった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

郊外実習において職場体験・実習教育を行う。内容として現場で必要な接客や技術を学ぶため、インターンシップや社会学の科目において1年次後期・動物病院でのインターンシップ実習、2年次前期・動物看護実習、2年次後期、動物病院でのインターンシップ実習を実施する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

1年次後期・2年次前期に、提携している動物病院に一定期間の現場実習を依頼し、実習終了後、一人ひとりの生徒に対し、5段階評価と総合評価を行ってもらう。2年次前期は動物看護臨床検査実習など更に高度な実習を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物看護総合実習	修得した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされるのか動物病院で体験・実習する。	北光犬猫病院他 動物病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

本校では、専門知識・技術の維持向上のため、研修に関する規程に従い組織的に取り組んでいる。研修内容は校内・校外において授業に必要な専門知識や技術の修得、また自己啓発などの講習に参加など、指導力の向上に努めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成30年4月15日	北海道獣医師会・北海道医師会連携シンポジウム～ダニ媒介感染症～（目的：技術向上）
平成30年6月17日	日本ペット中医学研究会 中獣医学セミナー（目的：技術向上）
平成30年9月20日	JKC札幌アーサードッグクラブ研修会（目的：技術向上）
平成30年9月30日	日本動物看護職協会 眼科セミナー（目的：技術向上）
平成30年10月27日、10月28日	日本動物看護学会研修会（目的：技術向上）
平成30年11月3日、11月4日	北海道小動物獣医師会年次大会（目的：技術向上）
平成31年1月10日	北海道私立専修学校各種学校連合会 動物部会研修（目的：技術向上）

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成30年7月24日	北海道私立専修学校各種学校連合会 職業実践専門課程研修会（目的：指導力向上）
平成31年1月10日	北海道私立専修学校各種学校連合会 動物部会研修（目的：指導力向上）

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

令和1年6月19日	ハイアスピレーション シャンプーセミナー（目的：技術向上）
令和1年8月6日	すぎたま アーティスティックトリミングセミナー（目的：技術向上）
令和1年8月7日	ハイアスピレーション シャンプーセミナー（目的：技術向上）
令和1年8月22日	全国動物専門学校協会 動物看護師養成研修会（目的：技術向上）
令和1年9月8日	JKC北海道ブロック トリマー義務研修会（目的：技術向上）
令和1年10月27日	日本動物看護職協会動物看護大会（目的：技術向上）
令和1年11月2日、11月3日	北海道小動物獣医師会年次大会（目的：技術向上）
令和2年1月26日	キャノン医療用品 エコーセミナー（目的：技術向上）

② 指導力の修得・向上のための研修等

令和1年7月23日	北海道私立専修学校各種学校連合会学校教員能力認定委員会 職業実践専門課程研修会（目的：指導力向上）
令和2年1月8日	北海道私立専修学校各種学校連合会 動物部会研修（目的：指導力向上）

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価をホームページで公開することによって学校の運営や教育内容の改善を図る。また、平成25年度より本校の卒業生・動物業界関係者等で構成される学校関係者評価委員会を設置し、評価の上、結果を公表する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか 他
(2)学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか 他
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか 他
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか 他
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか 他
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 他
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行われているか 他
(8)財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 他
(9)法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 他
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 他
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

令和1年10月23日17時より本校の学校関係者評価委員会を開催し、昨年度の評価との比較をふまえて意見を聴取した。授業評価に関してはまだ実施がされていないため、準備を早く進めることとする点、社会貢献に関しては慰問等が良い点と評価された。今後は更に学校運営や教育内容の向上を図るための意見を聞く予定である。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年10月31日現在

名前	所属	任期	種別
上西陽介	トリミングサロン Doggy Life	平成29年11月1日～令和1年10月31日(2年)	企業代表
千葉直美	DOG SALON paw print	平成29年11月1日～令和1年10月31日(2年)	企業代表
佐藤蘭子	えとう動物病院	平成30年11月1日～令和2年10月31日(2年)	卒業生
佐々木可愛美	湯山動物病院	平成30年11月1日～令和2年10月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL:<http://www.h-aiken.com/>(10月31日公表)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

今後、ホームページで情報提供を積極的に行い、学校関係者の理解、評価を推進し、適切な職業教育を選択するとともに、社会に対する説明責任、職業実践教育の質の更なる向上を図る予定である。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校名、学校の沿革・歴史、学校の特色 他
(2)各学科等の教育	定員数・修業年限・在籍数、カリキュラム 他
(3)教職員	教職員数、教職員(スタッフ)紹介、教職員の組織・活動
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況 他
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況・地域活動
(6)学生の生活支援	学生の生活支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	生徒納付金の取り扱い、活用できる就学支援措置の内容等
(8)学校の財務	資金収支計算書・貸借対照表
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

愛犬美容看護専門学校のホームページにて公開 URL:<http://www.h-aiken.com/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 動物看護科) 令和1年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物形態機能学	解剖学及び生理学の基礎を知り生命体としての動物を理解できるようにする。	1 2	120	8	○			○		○		
○			動物繁殖学	雄雌の生殖器の構造を理解したうえで、犬と猫の雌の発情・妊娠・分娩などの繁殖についての過程を学び、生殖器疾患と新生子疾患名について学習する。	1 2	30	2	○			○			○	
○			動物病理学	細胞の損傷、基本病変、免疫異常、浮腫、腫瘍について理解する。	1	30	2	○			○			○	
○			動物薬理学	薬理学とは何か、薬物治療の目的は何か学習する。	2	60	4	○			○			○	
○			動物感染症学	寄生虫学の基礎を理解する。	1 2	90	6	○			○			○	
○			動物看護学概論	動物看護とは何かを学ぶ。	1 2	60	4	○			○			○	
○			動物医療関連法規	動物看護師が行う獣医療関連業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し獣医療現場および環境関連、動物関連の法律について理解を深める。	1	30	2	○			○			○	
○			公衆衛生学	公衆衛生とは何か学ぶ。	1 2	60	4	○			○			○	
○			動物人間関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理的および社会位学的側面から理解する。	2	30	2	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
実技・学科の授業を行い、試験・実習の成績によって卒業を決定する。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	18 週

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 動物看護科) 令和1年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物福祉・倫理	動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。	2	30	2	○			○			○	
○			動物行動学	イヌやネコの発生起源、種類による特徴を理解し基本的行動から適正飼育、しつけ方法などを理解し動物の看護と飼い主指導に活かす。	1 2	44	3		○		○				○
○			伴侶動物学	愛玩動物として飼育されている犬や猫をはじめ、ウサギ、ハムスター、小鳥や両生類などの生態や飼育方法を学ぶ。、動物福祉をふまえた飼育管理方法を理解することを目標とする。	1	60	4	○			○			○	
○			産業動物学	産業動物の基礎知識と畜産としての酪農を学ぶ。	2	48	3	○			○			○	
○			実験動物学	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、実験動物との関わりについて学ぶ。	2	14	1	○			○			○	
○			野生動物学	さまざまな動物の特徴と人との関わりを理解する。日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。	2	30	2	○			○			○	
○			動物内科学	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて学ぶ。	1	30	2				○	○		○	
○			動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得する。	1	60	4				○	○			○
○			動物臨床看護学総論	動物の臨床看護に必要な知識を修得する。動物看護の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	1	30	2				○	○		○	
合計				科目	時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
実技・学科の授業を行い、試験・実習の成績によって卒業を決定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 動物看護科) 令和1年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			動物臨床看護学各論	さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。	1 2	120	8	○			○			○		
○			動物臨床栄養学	栄養学総論では、小動物の栄養に関する基礎を理解し、動物看護師としてライフステージ別の栄養指導やカロリー計算などを活用して飼い主にアドバイスができることを目的とする。栄養学各論では、総論で学んだ知識を活用して疾病時に必要な栄養管理について学ぶ。また、疾病の進行に合わせた食事を飼い主に提案できるようになることを目的とする	1 2	60	4	○			○			○		
○			動物臨床検査学	コミュニケーション能力を養い、チーム医療に参加できるように意識づける。動物病院の受付業務をシミュレーションを通して学び、問診法や飼い主への対応を学習する。	1 2	60	4	○			○			○		
○			動物医療コミュニケーション	動物看護師の動物病院での役割は幅広く多岐にわたる。動物病院での業務を背景にあらゆる状況に応じたコミュニケーション力を身につけ、クライアントエデュケーションを理解し、飼い主教育指導を学ぶ。	1 2	38	2	○			○			○		
○			動物形態機能学実習	動物のからだの形態と機能を骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ修得した知識の実践力を身につける。	1	46	3			○	○			○		
○			動物内科看護学実習	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技、またグルーミングの技術を得ることにより皮膚や被毛を中心とした健康状態の把握について理解を深め、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1 2	90	6			○				○		
○			動物臨床検査学実習	それぞれの動物種の状態に応じた保定技術を身につけスムーズな診療・処置を行えるようにする。	1 2	100	6			○					○	
○			動物外科看護学実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得し、実践力を身に付ける。	1 2	90	6			○					○	
○			動物臨床看護学実習	修得した知識の実践力を身に付ける。動物看護過程や疾患別看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1 2	60	4			○				○		
合計				科目	時間(単位)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
実技・学科の授業を行い、試験・実習の成績によって卒業を決定する。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	18週

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 動物看護科) 令和1年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物看護総合実習	修得した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされるのか動物病院で体験・実習する。	1 2	180	12			○	○	○	○		○
○			美容学概論	トリミングをする上で重要な犬の扱い方やグルーミングの方法、犬種によるカットの違いを学ぶことで、各犬種にあった基本的なトリミング方法や形、ハサミの入れ方などを学習し理解する。	1 2	32	2			○	○		○		
○			動物看護飼育美容実習	バイタルサインを実施しながら健康な動物を理解する。負担のないトリミングを実施する。実習を通して様々な保定術を身に付ける。	1 2	570	38			○	○		○		
合計				科目	2302時間(152単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
実技・学科の授業を行い、試験・実習の成績によって卒業を決定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週